

# わくわくウィンターキャンプ 2017 in 益子

## 活動報告書

2017年1月28日（土）～29日（日）



一般社団法人栃木県若年者支援機構

## ごあいさつ

一般社団法人栃木県若年者支援機構では毎週昭和こども食堂を運営しながら、多くの子どもたちと食事を通して関わっています。こども食堂に来ることを楽しみにしている子どもたちも多く、新しくお友達が出来たり、ボランティアの方と遊んだり、こども食堂の中でも子どもたちは成長し、また多くの笑顔が生まれています。そして毎日お仕事や育児に奮闘されているお父さんやお母さんにとっても、週に一度ここでゆっくりご飯を食べたり、お母さん同士でお話をする時間を楽しむことができ、安心できる地域の中の場所の一つとして親しんでいただいています。

昨年8月に開催したわくわくサマーキャンプでは、小中学生16人が夏らしいスイカ割りや水遊び、流しそうめんなど自然の中で様々な体験をして夏休みの楽しい思い出を増やすことができました。学年も小学1年生から中学2年生までと幅広く、プログラムによってはチームに分けての活動になりましたが、子どもたち同士で下の子の面倒をよく見てあげたり、小さい子同士は喧嘩をしてすぐに仲直りをしたりと、新しい友達を作れたことが子どもたちには一番の思い出になったようです。

こうした自然活動や体験を知らない人とも一緒にすることを通して子どもたちが成長していくことを実感し、多くの子どもたちにこの機会を届けることが必要であると感じました。また昨年9月にはこども未来応援基金の助成先としてご採択いただきまして、第2弾となるわくわくウィンターキャンプを再びNPO法人トチギ環境未来基地と協力して開催することが出来ました。

サマーキャンプに参加してくれた子どもたちの半数が参加してくれただけでなく、これまで学習支援を通してしか関わりのなかった子どもたちも参加してくれました。今回も大きな怪我なく、何よりも子どもたちがまた参加したい、また来るねと笑顔で言ってくれた満足度の高い二日間になることが出来ました。今後も引き続き多くの子どもたちとこうした体験を積んでいきたいと思っておりますので温かいご支援をよろしくお願いいたします。

わくわくウィンターキャンプ in 益子のスタッフを代表して  
栃木県若年者支援機構（昭和こども食堂担当） 荻野友香里



## 開 催 概 要

開催日時	2017年1月28日（土）・29日（日）の一泊二日のプログラム
開催場所	栃木県芳賀郡益子町他
宿泊場所	「わくわくハウス」（NPO 法人トチギ環境未来基地の拠点）
参加者	栃木県内の小中学生 15 名
参加費	2,000 円/人 ※お支払いが難しい方は免除申請あり
開催費用	（宿泊費、食材費、プログラム費、諸謝金）
スタッフ	7名（うちボランティア1名）
主催	一般社団法人栃木県若年者支援機構 NPO 法人トチギ環境未来基地

## 全体スケジュール

～ 1 日 目 ～

10:30	JR 宇都宮駅集合
11:30	わくわくハウス着 オリエンテーション
12:00	お昼ごはん
13:00	プログラム①芳賀富士山登り プログラム②森の中の宝探しゲーム プログラム③木のテントづくり
17:00	夕食・デザートづくり・お風呂
18:30	夕食
19:30	夜のお楽しみゲームバトル
21:00	就寝

～ 2 日 目～

7:00	起床
8:00	朝ごはん
9:00	朝のお勉強タイム
10:00	木工クラフト体験
11:00	餅つき、ピザ焼き、焼き芋体験
13:00	終了式
14:00	出発
15:00	JR 宇都宮駅で解散



## ～ 1 日 目 ～

### 芳賀富士登山

わくわくハウスから車で10分ほどの場所にある芳賀富士の登山に挑戦しました。それほど高くない山ですが、前回のサマーキャンプでは雨天のため途中で断念した山登りです。今回は快晴に恵まれ、男の子たちはとてもうれしそうに駆け登ったり、木や石を拾いながら散策したり、女の子たちはお話をしながら登山をしました。15分ほどの登山ですが、頂上に着いたときはみんな汗をかいて、「着いた！」ととても嬉しそうに達成感を感じていました。頂上からは町を見下ろすことができ、お茶を飲んだりお菓子を食べたりしながらゆったりと休憩した後、みんなでゲームをして遊びました。その後下山しましたが、登山が初めてだったうえに、特に下山が怖いと話していた子ども友達やスタッフと一緒にゆっくり降り切ることができ、充実感と少しの自信を得た経験となりました。



### 森の体験プログラム

その後はトチギ環境未来基地が整備を行っている障がい者施設の裏にある森へ移動し、森の中で宝探しゲームと木のテントづくりを行いました。森の中は震災以前シイタケの栽培を行っていた場所や、施設の利用者さんが散策したりこうした子どもたち向けの活動が行えるように遊歩道や遊具が整備された場所が広がっています。子どもたちは森の中に隠された点数を集めたりクイズに答えたりしながら探検し、一番点数を集めた子には景品が渡されました。その後は皆で木のテントづくりを行いました。枝に穴をあけてヒートンを取り付け、枝同士をつなげて組み立てていきます。初めて見る木のテントに子どもたちはみんな興味津々で、率先してヒートンを取り付けたり枝を探したりテントを組み立てたりしてくれました。最後は完成したテントにみんなで入り記念撮影をしました。自然の中にあるものを使って作るという良い経験になりました。



## 夕ご飯

サマーキャンプと同様、夕食は子どもたちと一緒に作りました。この日の夕食メニューはシチュー・鮭のムニエル・サラダとデザートに白玉パフェでした。今回は高学年と中学生の参加が多かったこともあり、手際よく野菜を切ってくれたりレシピを見ながら友達同士で分担して盛り付けなども行ってくれました。低学年の子も積極的に「何かすることないですか？」と聞いてくれ、フルーツ缶を開けたりお皿を運んだりしてくれました。白玉もハートは星形などかわいくして楽しんだり、男の子の中でも「料理が一番楽しかった」と話してくれた子もいて、遊びだけでなくこうしたいろんな体験を通してみんなで何かを作る楽しさを感じたり、自分の好きなことを見つけたりする機会の一つにもなると感じました。



## 夜のお楽しみゲームバトル

夜のお楽しみゲームを楽しみにしている子どもも多く、冬のためわくわくハウス内での遊びとなりましたが、チーム対抗ゲームを行いました。3チームに分かれて、ボーリング・勝ち残りじゃんけん・風船バレーをしました。チームで団結したり、チーム内の小さい子の面倒を上の子たちが見てあげたり、家の中ではなかなかできないような遊びもでき子どもたちはとても楽しそうでした。特にバレーボールはみんな真剣で白熱し、友だちともより仲を深められる時間になりました。楽しい時間を一緒に過ごし、より仲良くなれたことで就寝の時間はそれぞれの部屋で友達同士話したり遊んだりできたと、中学生の子たちもとても嬉しそうでした。普段お姉ちゃんとして下の子たちの面倒をしっかりと見ている子も、同学年の友達との時間を楽しめる良い機会になっていました。





## ～ 2 日 目 ～

### 朝のお勉強タイム（1時間）

2日目の朝はお勉強の時間から始まりました。学習支援の講師も行うスタッフが中心となって宿題を見たり、分からないところの質問に答えたりと学習のサポートを行いました。中にはどうしても勉強する気になれなかったり、集中力が続かない子もいましたが、スタッフだけでなく高学年や中学生のお姉ちゃんたちが小さい子の面倒を見て何とか宿題を進められるように声をかけていました。



### 木工クラフト体験

木や自然の中のものを使って高学年と中学生の子どもたちはウェルカムボード、低学年の子どもたちはマグネットづくりに挑戦しました。ボードに大小様々な木やどんぐり、葉っぱ、木の実などを自由につけてみんな思い思いの作品を一生懸命作りました。男の子は部屋に飾るものや自分の名前を書いたもの、女の子は好きな歌手の名前を入れるなど個性的な作品がたくさんでき、完成後はそれぞれ自宅へのお土産に持って帰りました。



### 餅つき・ピザ焼き・焼き芋体験

最後のプログラムは餅つき、ピザ窯でピザ焼き、ファイヤープレイスでの焼き芋体験でした。焼き芋の火を起こしている時間から、特に男の子はとて興味津々で、落ち葉集めも手伝ってくれました。餅つきを楽しみにキャンプに参加してくれたという女の子も中にはいて、みんなで順番に餅つきに挑戦しました。杵は意外と重たく餅をつく大変さも味わいながら、自分たちで一生懸命着いた餅をきな粉餅やぜんざい、しょうゆ餅にしてお友達と一緒に食べる事が出来ました。またピザ焼きはウイナーやトマトやマシュマロなど好きなトッピングを自分たちで行い、ピザ窯で順番に焼いてもらいました。とても人気で焼きあがるとすぐに駆けつけてあっという間になくなってしまうほどでした。



## 修了式

キャンプの最後は修了式です。一人ひとり 2 日間の感想を発表してもらい、修了証書を手渡しました。この 2 日間大きなけがなく、お友達や周りの大人とも仲良く楽しく過ごすことができ、山登りや料理や餅つきや友達を作ることなどそれぞれに挑戦する機会にもなりました。修了証書を受け取った子どもたちは恥ずかしそうにしながらも、何かをやり切ったというような表情を見せてくれました。



### 子どもたちの感想（一部紹介）

- ・サマーキャンプで会った子たちとまた会えて楽しかった。女子部屋でのガールズトークが一番楽しかったです。(中学 2 年・女子)
- ・一番楽しかったのは夜のゲームです。木工クラフトは大変でした。(小学 1 年・男)
- ・知らない人も知ってる人も一緒に話したりできたのがとても楽しかったです。春になったらみんなでお弁当を持って外でご飯を食べたいです。(中学 2 年・女)
- ・イベントがたくさんあって楽しかったです。中でも餅つきとピザ焼き体験が一番楽しかったです。(小学 4 年・女)
- ・ピザの具を好きなように入れて焼いて、みんなで美味しく食べられたことが良かったです。それから餅をみんなで頑張ってついたのが楽しかったです。(小学 4 年・女)
- ・楽しかったことがありますけど、一番はお風呂で遊んだことです。(小学 5 年・男)
- ・落ち葉をおっきな袋に入れるのが大変でした。(小学 2 年・男)

### スタッフの感想

前回のサマーキャンプに参加してくれた子が半数ほどまた参加してくれたことが非常に良かったです。お手伝いもみんな積極的にしてくれて、低学年の子も「何かすることないですか?」とよく聞きに来てくれました。お姉ちゃんお兄ちゃんたちはとてもしっかりしていて皿洗いをしてくれたり、荷物を持ってくれたり、小さい子たちの面倒を見てくれたりしました。ただその中でも友達同士で楽しそうにお話しをしながら過ごしていて、高学年の子どもたちにとっても新しい友達ができた楽しい思い出になったと思います。森の中で思いきり遊んだり餅つきを試してみたりと子どもたちは自然の中でたくさんの体験をできたのではないかと思います。また、最後にみんなでホワイトボードに「また来るね」と書いてくれていました。本当に楽しんでくれたことを感じとても良かったです。

キャンプ開催にあたりたくさんの皆様から温かいご支援、ご協力をいただきました。おかげで子どもたちと一緒に笑顔あふれるかけがえのない 2 日間を過ごすことができました。ご支援いただいた皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

ご支援お願いします

① 昭和こども食堂 運営サポーター

昭和こども食堂は皆さまからのご寄付、ご支援により運営を行っております。今後も安定して、子どもたちの居場所の一つとして運営していくことが大切であると考えています。引き続きご支援をお願いいたします。

② 子どもの体験活動応援基金

こうしたキャンプのように、昭和こども食堂を入りに子どもたちに様々な体験の機会を提供していきたいと考えています。子どもたちの心の成長をご支援下さい。

寄付の方法

① スタッフに手渡し

栃木県若年者支援機構スタッフへ直接現金をお渡しください。

② お振込み

栃木県若年者支援機構の下記口座へお振り込みください。

◆ ゆうちょ銀行からのお振込み

記号：10740

番号：10027801

◆ ゆうちょ銀行 ○七八（ゼロナナハチ）支店 普通口座

名義 イッパソヤダシホウジントキギケンジャクネンシヤケンコウ

※ご寄付下さった方は、お礼状等をお送りさせて頂きたいので栃木県若年者支援機構までご連絡ください。

特典 ・昭和こども通信を定期的に送付いたします（年3回）

・支援者の集いにご招待いたします（年1回）

・ホームページ等でご紹介をさせていただきます

一般社団法人栃木県若年者支援機構

NPO法人トチギ環境未来基地

〒320-0032 宇都宮市昭和 2-7-5

〒321-4104 芳賀郡益子町大沢 2584-1

(明在庵内)

TEL:028-678-4745 FAX:028-678-4746

TEL/FAX:0285-81-5373

